

BC-1106L DTS/BC-1606L DTS/BC-1606L DTS CADENCE取扱説明補足

DTS(ワイヤレス)機能搭載モデルにおいて、下記項目をご参照下さい。

マグネット取付に関して

- 1: 図1のように2mm六角レンチでスポークに固定します。
※注意: 固定の際、締付け過ぎに注意して下さい。締付け過ぎるとマグネット本体が破損する場合がございます。
- 2: エアロスポークに取り付ける場合、図1のように付属のエアロスポーク保護ボードを間に挟み固定してください。

DTSセンサー及びCADENCEセンサー(付属モデルのみ)取付に関して

- 1: DTSセンサーをフォークに取付後、メーター本体取付け位置はDTSセンサー位置に対し30度以内及び70cm以内の範囲で取付けてください。(図2参照)
- 2: DTSセンサーとマグネットの間隔は12mm以内として下さい。(図3参照)
- 3: CADENCEセンサー(付属モデルのみ)フレームに取付け後、メーター本体取付け位置はCADENCEセンサー位置に対し30度以内及び90cm以内の範囲で取付けてください。(図4参照)
- 4: CADENCEセンサー(付属モデルのみ)とマグネットの間隔は20mm以内として下さい。(図4参照)
- 5: DTSセンサー及びCADENCEセンサー(付属モデルのみ)の本体にバッテリーチェックボタンが装備されています。確認する時は爪や先のとがった物等で押してみてください。一瞬、緑のランプが点灯すればOKです。(図3参照) 点灯しない場合バッテリーが切れている可能性があります、速やかに新しいバッテリーとお取替え下さい。

スリープ機能及び解除に関して

- 1: 本機種は、節電の為スリープ状態になります。
- 2: スリープ状態を解除するには、本体のいずれかのボタンを一度押すと解除されます。
(※妨害電波の受信防止の為、走行をはじめても自動解除はされません。)

初期取付け時のシンクロ(電波読取り)に関して

- 1: 車体に取り付け後、本体がスリープ状態でないことをご確認下さい。
- 2: 本体とセンサーとの電波を読取るため、20秒～5分間は本体が反応するまで走行又は車輪を回して下さい。速度が反応すれば初期シンクロ完了です。

尚、サイクルコンピューター取付け時には、付属の本国版取扱説明もご参照下さい。

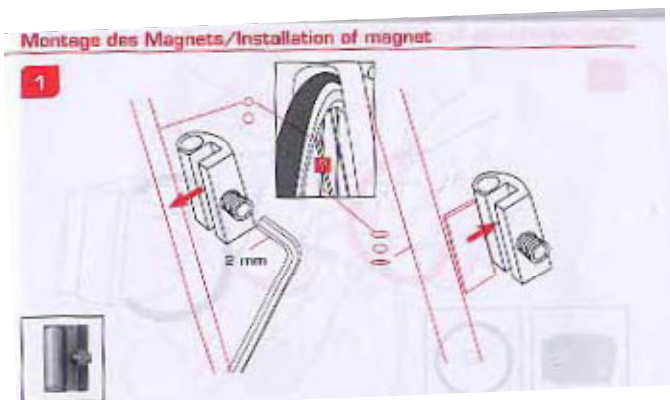


図1

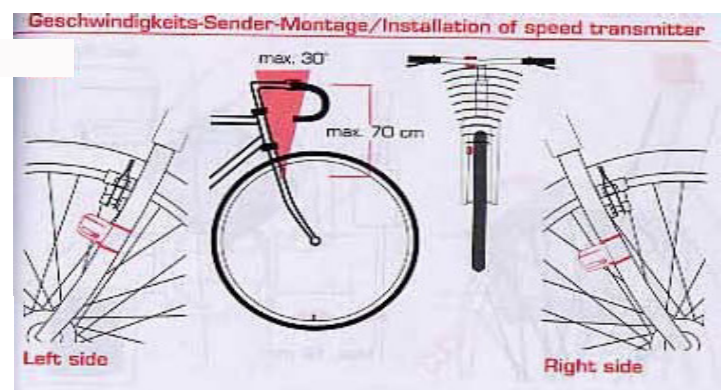


図2

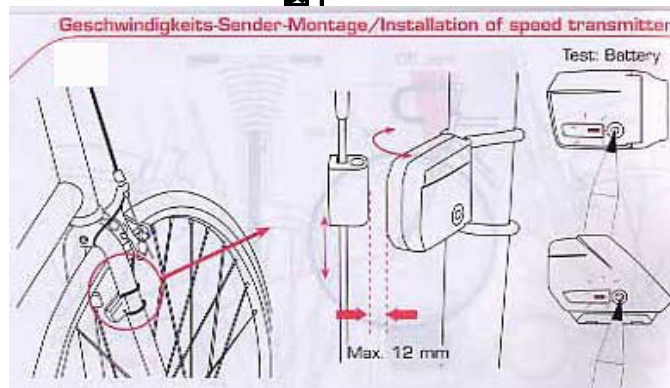


図3

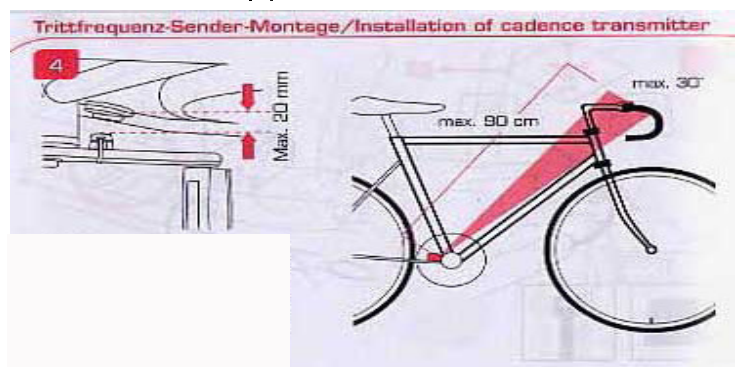


図4